

特別編入学試験

《外国人留学生コミュニケーション編入学試験》

I 学部・学科及び募集人員

学部・学科	募集人員	備考
人文学部 英語学科	3名	募集人員は、指定校特別推薦編入試、コミュニケーション編入試、特別編入試（外国人留学生コミュニケーション・外国学校修了者・社会人）の合計です。

II 編入学年次

第3年次

III 出願資格

下記のすべてに該当する女子とします。

- 1 日本の国籍を有していない者
- 2 日本国外の短期大学を卒業した者、あるいは大学で2年以上の教育課程を終えた者
- 3 入学時に出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において大学入学に差し支えない在留資格を有する者
- 4 日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験 N2以上の日本語能力を有する者、または日本留学試験（日本語）230点程度（記述式の点数は含まない）の日本語能力を有する者

IV 選考方法

2回の面接と小論文及び書類審査により入学者を選考します。

面接はすべて英語で実施します。（面接時に必要な英語力は P6 概要を参照）

*コミュニケーション入学試験についての詳細は、P3 コミュニケーション入学試験とは？ P6 概要を参照してください。

V 入学検定料

入学検定料 32,000 円

本学所定の振込依頼票で最寄りの銀行・信用金庫等の金融機関（ゆうちょ銀行は除く）から電信扱いで振込んでください。

日程	振込期間
A 日程	2013年11月18日(月)~12月4日(水)
B 日程	2014年1月27日(月)~2月14日(金)
C 日程	2014年2月24日(月)~3月13日(木)

振込依頼票（A 票）、領収書（B 票）、志願票（C 票）、受験票（D 票）は一枚綴になっていますので、必要事項を記入のうえ、切り離さずに入学検定料を添えて銀行等の窓口へ提出してください。振込みの後、銀行等の収納印（B・C 票とも）があることを確認してください。B 票は領収書ですので大切に保管してください。

VI 出願手続

日程	出願期間
A 日程	2013 年 11 月 27 日(水)～12 月 5 日(木)
B 日程	2014 年 2 月 5 日(水)～ 2 月 17 日(月)
C 日程	2014 年 3 月 4 日(火)～ 3 月 14 日(金)

以下の書類を本学所定の出願用封筒に封入のうえ、一括して書留で郵送してください。締切日の 17:00 までに必着です(消印有効ではありません)。窓口受付は行いません。本学において出願書類を確認・受付のうえ、受験票を出願者に郵送します。

P3 の「コミュニケーション入学試験とは？」をよくご覧になり、必要な手続きが済んでいることを確認してください。

(1) 入学試験志願票 (C 票)・受験票 (D 票) (本学所定のもの)

(2) 志望調査シート (本学所定のもの)

(3) 履歴書 (本学所定のもの)

※学歴は小学校からの在学期間、職歴は在職先と在職期間を明記してください。

(4) 最終学校の卒業証明書 (中国籍の場合には面接当日に卒業証書原本を持参)。国際バカロレア資格を有するものは資格証明書の写し。

※日本語もしくは英語の訳を添付してください。

(5) 最終学校の成績証明書 (中国籍の場合には原本に公証書を添付)

※日本語もしくは英語の訳を添付してください。

(6) 日本語能力を証明する書類の写し

(7) 健康診断書 (本学所定のもの)

(8) 住民票記載事項証明書

※海外から出願する場合には不要

(9) パスポートの写し

※氏名、番号、発行年月日、有効期限、日本の査証など本人に関する記載事項のあるページのコピー。

※出願時にパスポートの発給を受けていない場合には不要。

※パスポートは面接当日に必ず持参してください。

(10) 経費支弁書 (本学所定のもの)

(11) 経費支弁者と本人との親族関係を立証する書類

※経費支弁者が中国籍の場合には、居民戸口簿のコピー (両親と本人のページ)。

(12) 経費支弁者が親族・本人以外の場合にはその続柄を示す書類

※日本在住の第三者が支弁者となる場合にはその支弁者の在職証明書またはこれに類するもの、住民票 (外国人の場合には外国人登録証のコピー) 及び所得証明書あるいはこれに類するものが必ず必要です。

(13) 預金残高証明書

※経費支弁者が中国籍の場合には、存款証明書 (公証書を添付)。

(14) 預金通帳の写し

※日本に在住する本人が経費支弁者となる場合 (直近 1 年間程度のもの)。原本は試験当日に必ず持参してください。

※海外からの出願者は不要。

(15) 国民健康保険証の写し

※海外からの出願者は不要。

※未加入者は入学までに加入してください。

※ その他の書類の提出を求める場合があります。

- (注) ・一旦受理した検定料の返還要求及び志望学科の変更には応じられません。
 ・証明書はすべて発行日から 3 ヶ月以内のものに限ります。
 ・書類の返却を希望する場合には提出時にその旨を記しておいてください。

VII 試験日（面接及び課題）

日程	試験日
A 日程	2013 年 12 月 14 日（土）
B 日程	2014 年 2 月 22 日（土）
C 日程	2014 年 3 月 20 日（木）

場所：福岡女学院大学 〒811-1313 福岡市南区日佐 3-42-1 TEL 092-575-2970（入試課直通）

1. 集合時刻を受験票に記載して本人に通知します。指定された時刻までに来校してください。なお、受験票を必ず持参し、試験場建物入口で係員に提示してください。
2. 受験票は受験中は机の上に置いてください。また、休憩時間に試験室外に出るときは、必ず受験票を携帯してください。
3. 他の受験者の迷惑となる行為は行わないでください。注意等の指示に従わない場合は退室させることがあります。
4. 履修ガイド（教務・履修編）とシラバス（授業概要）、パスポートは必ず持参してください。
5. 日本に在住する本人が経費支弁者となる場合、預金通帳（直近 1 年間程度のもの）は面接当日に必ず持参し、受付で提出してください。出願時に提出された写しと照合し、試験終了時に返却します。
6. 課題文及び解答用紙の持ち帰りはできません。
7. 携帯品は各自で保管し、試験時間中は監督者の指示した場所に置いてください。
8. 試験場の下見は、前日 13:00 から 17:00 の間、試験場建物入口までとします。
9. 道路上などで、合格電報や電子メール等の勧誘を行う業者がいても、本学とは何の関係もありませんのでご注意ください。

VIII 合格発表

大学構内に掲示すると共に、受験者に可否に関する通知書類を郵送します。電話による選考結果の問い合わせには、一切応じられません。

日程	合格発表日	
A 日程	2013 年 12 月 20 日（金）	10:00
B 日程	2014 年 2 月 28 日（金）	10:00
C 日程	2014 年 3 月 24 日（月）	10:00

合格者には入学までの間に課題が与えられる場合があります。

IX 入学手続

一次手続き（入学金の納入及び誓約書＜合格通知書類に同封＞の提出）と二次手続き（入学金を除く入学時納入金納入）をもって入学手続きを完了とします。

（注）いかなる理由があっても、手続き締切日までに手続きをしない場合は入学資格を取り消します。

日程	一次手続き締切日	二次手続き締切日
A 日程	2014 年 1 月 9 日（木）	2014 年 3 月 6 日（木）
B 日程	2014 年 3 月 6 日（木）	2014 年 3 月 26 日（水）
C 日程	2014 年 3 月 26 日（水）	2014 年 3 月 26 日（水）

入学金	入学金を除いた入学時の納入金
210,000 円	495,500 円

（詳細は P18 を参照してください）

一旦納入した入学金は、理由のいかにかわらず返還できません。

入学手続き完了後に、入学を辞退する場合は、2014 年 3 月 26 日（水）17:00 までにその旨を本学入試課に電話で連絡してください。授業料等及び委託徴収金を返還します。

入学式当日、特別の理由なく欠席した場合は、入学を辞退したものとみなします。

X 注意事項

コミュニケーション入試で不合格と判断された場合、同一学科をコミュニケーション入試で再度受験をすることはできません。

概要

●人文学部（現代文化学科）

午前	1回目	形式：グループ面接 面接者：2名 受験者：4名程度 (約60分)	面接 内容	① 志望調査シート等に関する質疑応答 ② 志望学科の内容について ③ 履修ガイド（教務・履修編）・シラバス（授業概要・人文学部）の内容についての 質疑応答
	課題作文（60分）			指定されたキーワードを使用して1000字程度の作文 持込許可：辞書(電子辞書含む)
午後	2回目	形式：個人面接 面接者：2名 受験者：1名 (約20分)	面接 内容	① 課題作文について質疑応答 ② 志望分野（観光文化・交流文化・日本文化と国語教職）についての質疑応答

●人文学部（表現学科）

午前	1回目	形式：個人面接 面接者：2名 受験者：1名 (約20分)	面接 内容	① 志望調査シート等に関する質疑応答 ② 志望学部・学科の内容についての質疑応答 ③ 履修ガイド（教務・履修編）・シラバス（授業概要・人文学部）の内容についての 質疑応答
	小論文（60分）			800字程度の小論文 持込不可
午後	2回目	形式：総合面接 面接者：2名 受験者：1～5名 (約60分)	面接 内容	小論文のテーマをはじめとするディスカッション

●人文学部（英語学科）

特徴		① 英語コミュニケーション能力に焦点を当てて評価する入学試験です。 ② 面接はすべて英語で行います。 ③ 求められる英語能力は、英検（実用英語技能検定）で2級程度、TOEIC®で500点*程度です。 （*TOEIC®レベル評価によると「日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる」能力とされています。）		
午前	1回目	形式：個人面接 面接者：2名 受験者：1名 (30分)	面接 内容	① 自己紹介 ② 志望動機に関する質問 ③ 英語課題文に関する質問
	小論文（90分）			400語程度の英文を読み、日本語で300字程度に内容を要約し、自分の意見を800字程度にまとめる。持込不可
午後	2回目	形式：個人面接 面接者：2名 受験者：1名 (40分)	面接 内容	① 小論文の説明 ② 小論文に関するディスカッション ③ 志望動機の確認

●人間関係学部（心理学科）

午前	1回目 形式：アピール面接 面接者：3名 受験者：1名 (約30分)	面接 内容	① 志望調査シート等に関する質疑応答 ② 志望学科の内容について ③ 履修ガイド（教務・履修編）・シラバス（授業概要・人間関係学部）の内容についての質疑応答
	課題作文（90分）		テーマ：資料（新聞記事：社会問題・環境問題等）をもとに持込不可
午後	2回目 形式：テーマ面接 面接者：2名 受験者：1～6名程度 (場合によって人数に変更あり) (60～90分)	面接 内容	主に課題作文で取り上げられたテーマに基づくディスカッション

●人間関係学部（子ども発達学科）

午前	1回目 形式：個人面接 面接者：2名 受験者：1名 (約15分)	面接 内容	1. 志望調査シート等に関する質疑応答 2. 志望学科の内容について 3. 履修ガイド（教務・履修編）・シラバス（授業概要・人間関係学部）の内容についての質疑応答
	課題作文（90分）		テーマ：資料（新聞記事：社会問題・環境問題等）をもとに持込不可
午後	2回目 形式：グループ面接 面接者：2名 受験者：5名程度 (場合によって人数に変更あり) (60～90分)	面接 内容	集団ディスカッション テーマ 例) a. 課題作文をもとに b. 新聞記事をもとに

校納金等納入金

【本学短期大学部卒業生の場合】

		科 目	入学時納入金	後期納入金	4年次納入金（年額）	
学部共通	入学一時金	入 学 金	105,000	—	—	
		小 計	105,000	—	0	
	授業料等	授 業 料	362,500	362,500	725,000	
		施 設 設 備 費	125,000	125,000	250,000	
		小 計	487,500	487,500	975,000	
	委託徴収金	後 援 会 費	4,500	4,500	9,000	
		学 友 会 費	3,500	3,500	7,000	
		小 計	8,000	8,000	16,000	
			合 計	600,500	495,500	991,000

【本学短期大学部以外卒業生の場合】

		科 目	入学時納入金	後期納入金	4年次納入金（年額）	
学部共通	入学一時金	入 学 金	210,000	—	—	
		小 計	210,000	—	0	
	授業料等	授 業 料	362,500	362,500	725,000	
		施 設 設 備 費	125,000	125,000	250,000	
		小 計	487,500	487,500	975,000	
	委託徴収金	後 援 会 費	4,500	4,500	9,000	
		学 友 会 費	3,500	3,500	7,000	
		小 計	8,000	8,000	16,000	
			合 計	705,500	495,500	991,000

注)

- ① 4年次の納入金は、初年度と同様、前期と後期に分割納入となります。
- ② 委託徴収金は2013年度の実績です。
- ③ 子ども発達学科では実験実習費が必要です。入学後に徴収します。詳細については本学入試課にお問合せください。
- ④ 4年次には、上記の委託徴収金のほかに、卒業積立金及び同窓会入会金等を別途徴収します。

単 位 認 定

《人文学部》

1. 3年次編入学生は、64単位を上限として単位の認定を行います。
2. 必修科目については、1・2年次開講科目相当の単位数を修得したものと見なしますので、編入学後は、原則として3・4年次の開講科目を履修してください。
3. 教員免許及び資格取得に必要な科目については、認定単位数の範囲内で、修得済みである科目の内容に応じて読み替えを行います。従って、教員免許及び資格取得に読み替え可能な科目を、前大学及び短大等において修得していなければ、本学にて履修しなければなりません。
4. 卒業要件外である教員免許取得に必要な科目を認定する場合は、単位認定する64単位には含まないものとします。

《人間関係学部》

1. 3年次編入学生は、64単位を上限として単位の認定を行います。
2. 必修科目については、1・2年次開講科目相当の単位数を修得したものと見なしますので、編入学後は、原則として3・4年次の開講科目を履修してください。
3. 教員免許及び資格取得に必要な科目については、認定単位数の範囲内で、修得済みである科目の内容に応じて読み替えを行います。従って、教員免許及び資格取得に読み替え可能な科目を、前大学及び短大等において修得していなければ、本学にて履修しなければなりません。
4. 卒業要件外である教員免許取得に必要な科目を認定する場合は、単位認定する64単位には含まないものとします。

免 許 ・ 資 格

《教職課程（中学校・高等学校）》

1. 本学教職課程履修内規により、最終学校の全科目の成績のGPA（本学の基準で算出したGPA）が2.40未満の者は、原則として教職課程の履修が認められません。
2. 前大学及び短大等での単位修得状況によっては、免許取得までに3年以上かかることがあります。
3. 教職課程の履修を志望する場合は、科目の読み替えを行うため、必要な証明書を提出していただくことになります。詳しくは合格者への通知にてお知らせいたします。

《人間関係学部 子ども発達学科》

1. 本学内規により、免許及び資格ごとに設定された履修資格基準（免許及び資格取得のために必要な単位や本学の基準で算出したGPA等）に達しない者は、原則として学外実習の履修が認められません。
2. 前大学及び短大等での単位修得状況によっては、資格取得までに3年以上かかることがあります。
3. 免許及び資格を志望する場合は、面接を行いますので志望書類の希望欄に必ずチェックをしてください。

長期履修生制度

社会人の大学入学・編入学をバックアップするために作られた制度です。いつもの仕事や暮らしを大切にしながら、少しずつ履修できるよう、ゆとりある在学期間を設定しました。授業料は履修科目数に応じて納入。対象者は、人文学部・人間関係学部の社会人入試を経て入学し、本制度利用を希望する人です。ご希望の方は、必ず、あらかじめ本学入試課にご相談ください。

在学期間	人文学部・人間関係学部	3～4年（編入学）
年間の登録単位数	24 単位を上限とする	
校納金の納入方法	入学金	入学時一括納入
	授業料	本人の在学期間で除し分割納入とする
	施設設備費、委託徴収金	本人の在学期間で除し分割納入とする
	実験・実習費等	他の学生と同様

*在学期間は出願時の本人の申し出によって決定します。*授業料の履修登録単位数には自由科目は含まれません。

*2013 年度実績